

(一社) 優良ストック住宅推進協議会 社員総会・理事会・記者会見を開催

～3か年計画で捕捉率向上へ～

2018.08.31

(一社) 優良ストック住宅推進協議会は2018年8月31日、東京都千代田区の如水会館で、社員総会・理事会、に続き会見を開き事業状況を報告しました。同日の理事会で和田勇会長（積水ハウス相談役）の後任として阿部俊則氏（積水ハウス会長）が新会長に選出され、総会後の会見で「当協議会は今年6月で丸10年が経過し住宅業界を取り巻く少子高齢化、気候変動、自然災害、空き家の大量発生という課題に真摯に向き合い、優良ストックをつくっていくのが業界の役目」と語り「建て替えとリフォームを両輪に住宅ストックの性能や品質を改善し、既存住宅の流通市場を大きくしていきたい、その為には、我々が先頭に立って優良ストックの形成に貢献したい」と抱負を述べました。



(中央) 阿部 俊則 会長（積水ハウス株式会社 代表取締役会長）
(左) 濱 博文 代表幹事（大和ハウス工業株式会社 上席執行役員）
(右) 島津 明良 事務局長

またスムストックの普及拡大を図る尺度として「捕捉率(*1)」に改めて着目した3か年計画を発表し、阿部新会長は、会員各社とのさらなる連携強化を訴え、目標達成に尽力する考えを示しました。

(*1) 捕捉率：「会員各社ストック戸建て流通数」に占める「スムストックとして流通した数」の割合
(2018.08.31 一般社団法人 優良ストック住宅推進協議会)